

家庭菜園 基本のキホン!

藤田智直伝!

その① トマト(大玉)

今回から始まる「家庭菜園基本のキホン!」では、各品目の作り方について、野菜作りの初歩の初歩から解説していきます。初めて挑戦される方はもちろん、少し慣れてきた方も初心にかえって「基本のキホン」を復習してみてください。第1回は、甘酸っぱくてカロテンとリコピンたっぷりの、トマトの基本です。

恵泉女学園大学 園芸文化研究所助教授
藤田 智



カロテンとリコピンを多く含む、代表的な緑黄色野菜、トマト。

トマトの特徴

トマトは、南米ペルー・エクアドル近辺のアンデス高原地帯が原産です。1492年にコロンブスがアメリカ大陸を発見してから、ヨーロッパや世界各地に伝播し、今や世界の最重要野菜の1つとなりました。栄養的にも優れた赤に完熟した果実にはカロテンとリコピンが多く含まれており、緑黄色野菜の代表として私たちの健康を支えてくれています。

トマトは原産地の気候を反映して、強い光を必要としながらも、比較的冷涼で昼と夜の温度差が大きい、乾燥した条件を好みます。そのため、栽培する場所は日当たりと水はけのよい畑が適します。また、トマトのような果菜類は、栄養生長と生殖生長のバランスがとれた生育をさせることが大事です。

例えば、低温による未受精によって第1花房に着果しないと、茎葉ばかり茂って実がつかない「つるボケ」になることもあります。

主な品種

トマトは世界で最も重要な野菜の1つですから、品種の数はたくさんあります。病気に強く育てやすいものは、サターン、強力米寿2号、や、珍しい黄色トマト、黄寿、などです。また、完熟トマトの、桃太郎、シリーズでは、家庭菜園で育てやすい、ホーム桃太郎がおすすりめです。



栽培しやすい短節間種の強力米寿2号!



昔ながらの懐かしい味と香りが魅力の サターン!



おなじみ 桃太郎 シリーズの、作りやすい家庭菜園向け品種 ホーム桃太郎。



食味最高の珍しい黄色トマト 黄寿!

栽培方法

1 土づくり

トマトの根は、深さ1m、幅2〜3m程度に伸長するので、深く耕すことと水はけをよくすることを心掛けます。また、前年にトマト、ナス、ピーマン、ジャガイモなどナス科野菜を植え付けた畑は、連作になるので避けましょう。

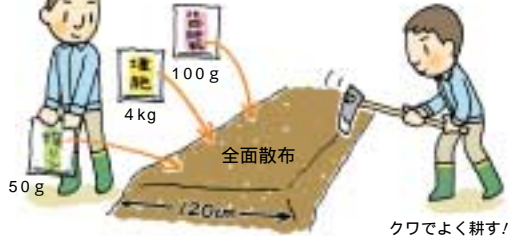
第1回 土づくり

植え付け2週間前
石灰を散布し、よく耕す。



植え付け1週間前

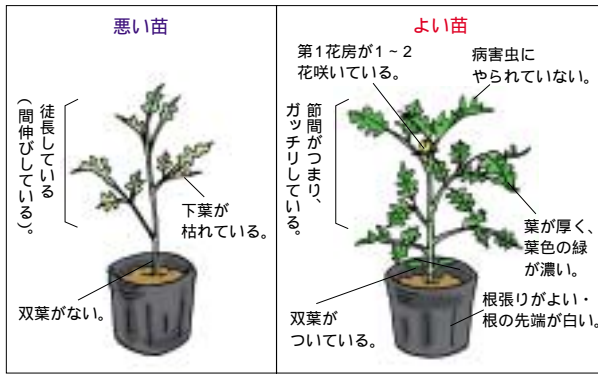
畝作り
それぞれ1㎡当たり



畝の完成!
高さ20cm、幅120cmの畝とする。



第2図 よい苗の選び方



2タネまきと植え付け
家庭菜園の場合、苗を購入して育てるのが一般的です。というのは、タネをまいてから植え付け適期の苗に育てるまで、70日間もかかります。植え付け適期の4月下旬~5月上旬から逆算すると、2月中下旬の低温期にタネまきしなければならず、保温などの管理が大変だからです。しかし、自分で栽培してみたい品種がある場合は、育苗して取り組む必要があります。

苗を購入する時は、ガッチリした丈夫な苗を選びます。また、連作障害が気になる場合や病害に強い苗を栽培する場合は、接ぎ木苗を購入するとよいでしょう(第2図)。

植え付けは前述のように、遅霜の心配がなくなるころの4月下旬~5月上旬に行います。トマトの植え付け適期苗は、第1花房の1~2花が開花するくらいの大きさです。ただし、市販苗は一般に小さめの9cmポット苗なので、購入してから12cmポットに移植し、1番花が咲き始めるまで養生した方が結果がよくなります(第3図・第4図)。

第3図 植え付け

株間45~50cm、
条間60cmの2条植えにする。



point!



花房を通路側にして植え付けると、管理や収穫が楽になる。



第4図 支柱立て

支柱は植え付け前に立てておくと、植え付け後すぐに誘引できるので便利(植え付け後でも可)。合掌式と直立式があるが、2条植えの場合は合掌式がおすすめ。



長所
風に強く、真夏は土が乾きにくい。
短所
風通しが悪い。



長所
日当たりと風通しがよい。
短所
風に弱い。

タネから育てる場合

タネまきは、植え付け時期の2カ月ほど前を目標に行います。5月に植え付ける場合は、2月下旬の寒冷期にタネまきすることになりますので、保温が大変です。家庭菜園では4月にまいて育苗し、

6月に植え付けるのが無難です。ポットで2カ月間育苗するので、週に1回、水やりを兼ねて500倍の液肥を施し、肥切れに注意します。第1花房が開花する所に植え付けます。

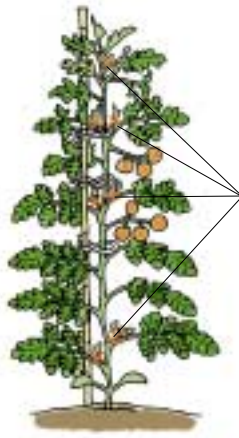


第5図 わき芽取り

わき芽取り
をすることで、果
房が大きくなり、日当
たり、風通しもよくな
るので、病害虫の
予防にもなる。



手でかき取るか、
清潔なハサミで
切り取る。



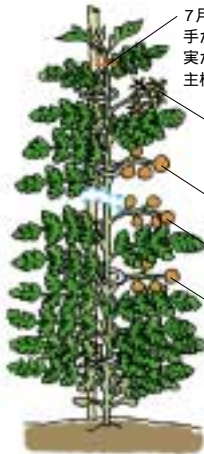
生長するうちに、
葉の付け根かわて
葉は出てくるので、
わき芽はすべ
てかき取り、主
枝1本仕立
とする。

3 整枝・誘引・摘芯

苗が活着し、葉や茎が勢いよく生長するようにすると、葉の付け根から盛んにわき芽が出てきます。「おつ、調子いいなあ!」ではありません。トマトは、一般にこのわき芽をすべて摘み取り、主枝1本のみで果実を着果させる1本仕立てで育て、誘引・摘芯をします。このわき芽取り・誘引の作業は、毎週1回行います。次にどこまで実をならせるかですが、5〜6段で芯止めとし、最終果房の上2枚の葉を残し、その上を摘芯します。

第7図 主枝の摘芯

手で摘み
取る。



7月中旬ごろに
手が届く高さで
実が5〜6段ついたら、
主枝の先端を摘芯。

5〜6段目の花房より
上の葉2枚を残した所で、
開花し始めた時に行う。

第5花房
第2花房
第1花房

第6図 8の字誘引



指1本分の余裕を
持たせる。



8の字を描くように、
茎を支柱に縛る。支柱
はきつめに、茎にはゆ
とりを持たせて巻き付
けること。

第9図 追肥



マルチのすそをめくり、化成肥料1㎡当たり
30〜50gを与える。追肥後軽く土寄せする。

5 追肥

追肥は、第1花房の果実がピンポン玉の大きさになったところと、第3花房の果実が同じくピンポン玉大に生長した時期の2回をめどに行います。その後は、生育を見ながら追肥を行います。



トマトの花。1つの花房の2〜3花が開花したら、ホルモン処理を行う。

4 ホルモン処理

トマトの場合、第1花房の着果は、つるボケ防止のために必ず成功させなければなりません。一般に、第1花房の開花時期は低温期になるので、トマトトン100倍液を散布して着果を促します。

先端の若い芽にかからないよう注意。

霧吹きで1〜2回さっとかける(2度かけは、奇形果の原因となるので注意!)

第8図 ホルモン処理

先端の若い芽にかからないよう注意。

霧吹きで1〜2回さ
っとかける(2度か
けは、奇形果の原因
となるので注意!)



7 収穫

開花後50〜55日で着色してきます。家庭菜園では、真っ赤に熟したトマトを味わいたいものです。朝露にきらりと光るトマトをがぶつとかじる時、その甘みと新鮮さにジーンと感動することでしょう。



真っ赤に熟したトマトを味わいたい。

6 病害虫の防除

疫病が発生すると収穫皆無という事態も起こりますので、Zボルドー400倍液やダコニール10000倍液を散布し、予防に努めます。アブラムシには、DDVPあるいはマラソン乳剤1000倍液を散布します。



藤田 智
(ふじた さとし)

プロフィール
1959年秋田県生まれ。
恵泉女学園大学園芸文化
研究所助教授。専門は野
菜園芸学、植物育種学、
農業教育学。「NHK趣
味の園芸」講師、雑誌「や
さい畑」連載のほか、ラ
ジオなどでも野菜作りの
魅力を伝えている。主な
著書に「別冊NHK趣味
の園芸・わが家の片隅で
おいしい野菜を作る」(N
HK出版)など多数。